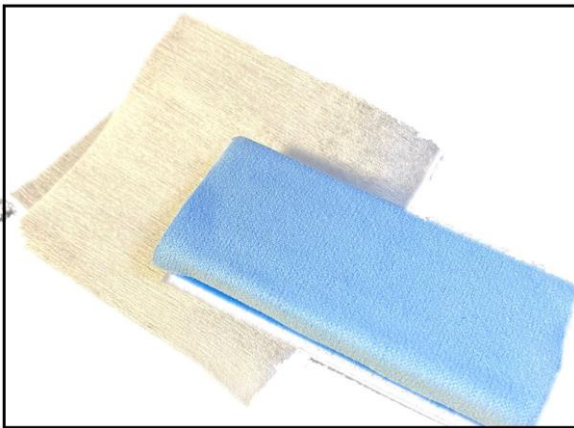


こけ楽使用方法

下地処理



水槽をしっかりと洗浄してください。リセット水槽の場合はコケが残らない様に取り去ってください。その後、マイクロファイバークロスや**こけ楽専用不織布とパッド（研磨面）**でしっかりと下処理します。パッドでの研磨はあまり力を入れすぎず滑らせるように磨きましょう。

目安は表面がピカピカツルツルになりスプレーボトルで水をかけてもあまりはじかなくなる状態です。

コーティング

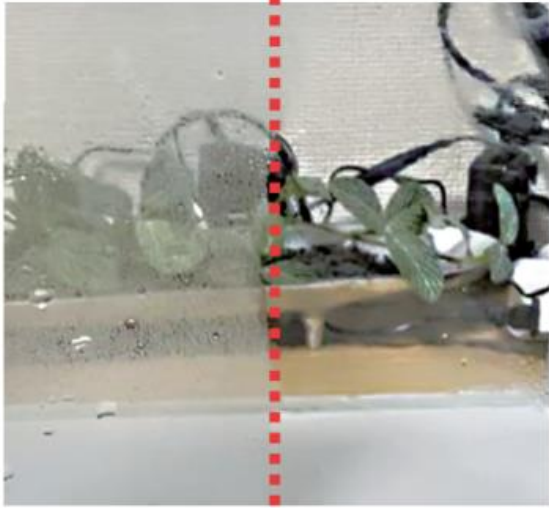
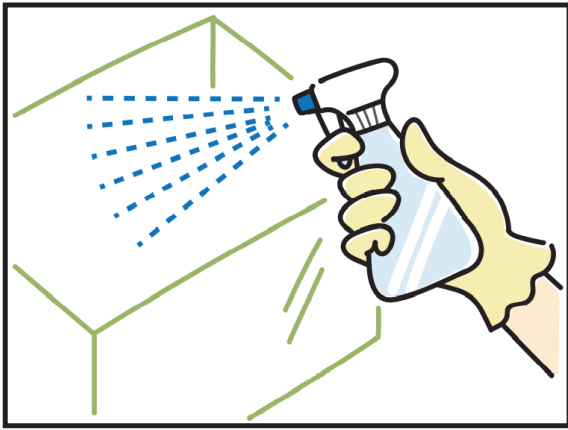


眼鏡拭き等のマイクロファイバークロスや**専用パッド（塗布面）**にこけ楽を少々付け、隅々まで少々力を入れ擦り込みます。

全体にゆきわたったら濡らしたマイクロファイバークロスでムラになったところを拭き取ります。

50mgで縦横約20cmコーティングできます

コーティングのチェック



◀撥水状態 親水状態▶

コーティングがうまくいったかどうかをチェックする方法です。

コーティング後スプレーボトルで水を吹きかけます。うまくコーティングできると水を弾かず、表面にサッと広がります（親水状態）。確認後、しっかり拭き取って乾いたのちにもう一度水を吹きかけてチェックします。同じように親水性がしっかり確認できれば成功です。

上手くいかない場合は下地処理からやり直しましょう。

メンテナンス



綿状のコケが少し見えたとき、水替え時、リセット時等には簡単なメンテナンスを行ってください。

コーティング面の汚れを柔らかいスポンジやマグネットタイプのクリーナーで取り去って下さい。

コーティングが充分でない部分を見つけた場合はその場所だけ下地の再処理 / 再塗布しましょう。

こけ楽コーティングセット

コーティングセット



より簡単にこけ楽で確実にコーティングするために便利な専用コーティングパッド / 不織布がセットになった製品があります。

専用不織布をパッドの光沢面でガラス面の下地処理をおこない、パッドのマイクロファイバー面でこけ楽をしっかりと擦り込む事ができます。

台座のEVA樹脂が固めで吸水しないので、こけ楽を効率よく施工することができます。

パッドは塗布面と研磨面があります。

研磨面（黒いスポンジが付いている方）には研磨フィルムが貼ってありますが間違ってもスポンジから外さないようにしてください。

研磨効果が落ちた場合は予備シートの光沢の無い面を外側にして両面テープでパッドに取り付けてください。

不織布は乾湿両用可能です。洗えば何度も再利用できます。



注意事項

1. 水槽にコーティングする際は接合部のシリコン部分には強い力や摩擦を与えないようにしてください。その部分に関してこけ楽は優しく塗布するだけで効果は発揮できます。パッド研磨面も使用は控えましょう。
2. こけ楽使用后、特に長期間使用の予定のない場合はしっかりとフタを閉め、できればビニールテープでさらに封止する等して保管してください。水分が飛ばなければ変質はしません。
3. こけ楽の効果度合いと期間を左右するのは下地処理と塗布時の摩擦具合です。何度も再塗布しても問題ありませんので下地処理と塗布を繰り返すと効果が強くなります。
4. 一部水槽にはガラス表面に特殊な処理がされている場合があります。弊社または販売店までご相談下さい。
5. 特殊な柔らかく凹凸加工された水槽やシート（反射防止シート等）にはこけ楽の施工を避けて下さい。
6. アクリル水槽・プラスチック水槽には専用パッドの研磨面は使用しないでください。
7. ルーター（ウールバフ使用）を使用すると鏡面加工ガラス等難易度の高い水槽でもしっかりと施工可能です。その際は水槽接合部のシリコン部分は剥がれる可能性がありますので手作業にて塗布願います。